

# 2022年度「世界とつながる島根づくり助成金」交付事業一覧

①事業概要 ②実施場所 ③実施時期 ④助成額 ⑤その他

整理番号	事業名	団体名	概要
1	日本語教育事業	出雲日本語ネットワーク	<p>①地域で日本教室を開講し、学習者の希望に沿った日本語指導を行い、日本語能力の向上と国際理解を図った。</p> <p>②出雲市</p> <p>③通年</p> <p>④88,000円</p> <p>⑤コロナ禍により、夏の約3か月教室活動ができなかったことが誠に残念。学習者のレベルや希望にあわせた個別指導に努めているが、都度参加の学習者への対応は、困難な面もある。「継続は力なり」の言葉どおりに地道に日本語教育活動を続けていきたい。</p>
2	国際化環境づくり事業 日本語ボランティア研修会	浜田国際交流協会	<p>①浜田市内の日本語教室と共催し、日本語学習のサポートに役立つ研修会を開催した。参加者は18名。</p> <p>②浜田市</p> <p>③12月4日</p> <p>④56,000円</p> <p>⑤2年ぶりに大阪からの講師を招くことができた。久しぶりの対面研修で、大変充実した時となった。広報については、もう少し早めにいろいろな媒体を活用する工夫が必要。来年度以降も感染対策をとりながら対面で開催できるようにしたい。</p>
3	ひかわdeにほんご教室の指導	ひかわdeにほんご	<p>①地域で日本語教室を開講した。学習者の「人と話したい」「人の言うことがわかりたい」という気持ちを考慮した学習の場を提供した。教室のべ参加者約220人。</p> <p>②出雲市</p> <p>③通年</p> <p>④53,000円</p> <p>⑤日常生活でよく使う表現を学べるように心がけている。新規参加スタッフも、学習者に触れ合うことで異文化や言葉等への理解が深まり、多様性に目が開かれた。コロナの状況が改善すれば、交流を目的としたイベントを復活する予定である。</p>

4	アジアフェスタ@ごうつ2022	アジアフェスタ@ごうつ2022実行委員会	<p>①江津市や県西部に在住の東南アジアを主とする外国人と地域の日本人住民との交流の場。料理屋台（15店舗36品目）、民族舞踊や演奏、日本語スピーチコンテストなどを行ったほか、6つの体験ブースを設けた。来場者は累計1,500人。</p> <p>②江津市</p> <p>③11月6日</p> <p>④200,000円</p> <p>⑤高校生、大学生ボランティアの参加を意識した結果、外国人と日本人の交流だけでなく、世代間の学びの場ともなっていることに気づいた。より安定的な運営をするために、ボランティアミーティングやゴミ処理、出展やステージ調整等を丁寧に進めていきたい。</p>
5	中国をルーツに持つ子どもへの中国語・中国文化教育を通じた地域交流事業	みんなの母語広場	<p>①中国をルーツに持つ小中学生を対象とした中国語母語教室（オンライン・対面）を通年で開催した。（毎回2～4人の学習者）また、地域住民を交えた中国式ドッチボール大会を11月に開催し、約60人が参加した。</p> <p>②松江市</p> <p>③通年</p> <p>④61,000円</p> <p>⑤オンラインでは子ども同士の交流が少なくなったため、対面で戸外で（花壇づくり、素麺流し、凧作りなど）の活動機会を提供した。2回目となった中国式ドッチボール大会は、運営も順調で学生ボランティアが素晴らしかった。今後は、中国語教室の運営主体は、島根大学留学生学友会に移行し、子ども同士の交流機会の創出に重点を置きたい。</p>
6	日本語教室	日本語ボランティアゆうわ	<p>①日本語教室を定期開催し、延べ280人の外国人学習者の参加があった。日本の伝統文化や地域に触れる交流活動を行った。</p> <p>②出雲市</p> <p>③通年</p> <p>④89,000円</p> <p>⑤コロナ禍で活動が制限された時期もあったが、ほぼ1年を通じて教室を開催できた。学習者が多様となり、いろいろなニーズへの対応が必要、新規会員の募集にも取り組みたい。感染防止策を取りながら、できるだけ従来の活動に戻していきたい。</p>

7	第1回しまねベトナム交流サッカー大会	特定非営利活動法人 しまねベトナム同志会	<p>①島根及び隣県のベトナム人、日本人チームとのサッカーを通じた交流。競技者は112人（8チーム）。</p> <p>②出雲市</p> <p>③8月14日</p> <p>④104,000 円</p> <p>⑤開催にあたり、松江市（選手・スタッフ派遣）、県サッカー協会（審判派遣）、会社有志（寄附金）からの協力を得ることができた。ベトナム人同士の、また日本人チーム、運営スタッフ、審判団との交流が図れた。今後は毎年開催とし、一般住民や他の外国人にも観戦してもらえるよう周知を図りたい。</p>
8	言語的・文化的に多様な子どもたちの居場所づくり2022	こどもサポートプロジェクト	<p>①言語的・文化的に多様な子どもたちのサポート教室（居場所）を放課後や休日に開催し、学習支援及びアクティビティを行った。島根大学の学生有志を中心に、他大学の学生、高校生・中学生、地域のボランティアなど多様なメンバーで運営した。</p> <p>②出雲市</p> <p>③6月～3月</p> <p>④42,000 円</p> <p>⑤スタッフ・子ども・保護者の繋がりなどから新たな子どもや地区を超えての参加が見られた。参加する子ども全員の保護者と毎回コミュニケーション取ることにより、保護者との関係づくりに務めた。</p>
9	いずも多文化ひろば2022	多文化”結”の会	<p>①多文化スポーツひろば（スポーツ等体験）参加者80人。いずも多文化ひろば（各国料理、韓国めんこ体験、外国クイズ、ステージなど）参加者500人。</p> <p>②出雲市</p> <p>③11月13日、3月5日</p> <p>④48,000 円</p> <p>⑤イベント開催のプロセスを通じて多文化共生に関わる個人・団体の連携・協力の促進に務めた。実行委員会に多様なメンバー（NPO、高校生、大学教員・学生、ボランティア団体・個人など）が参画し、事業運営のためのアイデアやリソースが広がった。</p>